

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院における BTS (bridge to surgery) 目的のイレウス管と金属ステントの比較検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	本多一仁
研究期間	2025 年 9 月 ～ 2025 年 11 月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日 (2025 年 9 月 3 日)
対象者	2015 年 1 月から 2024 年 12 月までの 10 年間で当院にて閉塞性大腸癌に対して術前イレウス管またはステント留置を施行した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	これまで閉塞性大腸癌では術前減圧を目的に経肛門イレウス管留置を行っていました。しかし、術前処置を要することで患者さんに負担と不快感を与えていました。一方で金属ステント留置は、術前に一度退院することも可能であり、早期に経口摂取を再開できることから患者さんへの負担も小さくなると考えられ現在では一般的な手技とされています。そこで本研究では手技の成功率や在院日数等を比較し金属ステント留置にどのような有用性があるのかを検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録 (カルテ) から次の情報を調査します。 ・背景因子 (年齢、性別 内服薬 など) ・手術情報 (術式 合併症 など) ・内視鏡情報 (イレウス管/金属ステント、時間、病変部位 など) ・入院情報 (在院日数、食事再開日 など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器内科 本多一仁 代表 054-247-6111